

市駅まちづくり通信 09

今年度の社会実験に向けた協力体制の構築

第9号 2016.9.7

発行：市駅まちづくり実行会議

編集：和歌山大学観光学部永瀬研究室

7月8日(金)に第9回まちづくりワークショップが開催されました。今回は、9月15日(木)~10/2(日)の18日間にわたって実施される「市駅「グリーングリーン」プロジェクト2016」の現時点での進捗報告と、それらの報告に対して、住民の方々から多くのアドバイスや提案をいただきました。

第9回
WS

2016年の社会実験の企画内容について、住民の方々との意見交換。

今回のワークショップの流れとしては、前半は社会実験の概要説明から始まり、その後、学生が各担当（歩行者天国・市堀川クルーズ・まちぐるみミュージアム・広報）の進捗報告を行いました。そして、後半ではこれらの進捗報告を踏まえ、各班に分かれて意見交換を行いました。各班では、社会実験の各企画内容について、改善策やアドバイス等が提示されました。



各項目について出た意見 ※一部、内容を考慮して整理しなおしています。

項目	参加者の意見	
市駅前通り歩行者天国		
芝生エリア	<ul style="list-style-type: none"> ●ビールイベントは天候に左右される可能性がある ●ライオンホルモンの焼肉が昨年好評だったので、今年も出店してほしい ●ベルファンに弁当を売ってもらう ●コンテンツを追加する（起震車・消防車・白バイ展示など） 	<ul style="list-style-type: none"> ●中央分離帯のないところの通り抜け防止対策（ロープだけでは機能しないので、出店店舗などでバリアードをつくる） ●当プロジェクトと同時開催イベントをつなげる動線。（竹燈夜の余っているものを市駅周辺に配置するなど） ●出店エリア全体を「マルシェ」化する。（場所を自由に貸して、出店者を募るといった形式）
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ●通行止めの告知などは1カ月前からするべき ●デジタルサイネージは市駅側から渡ってきた人にも見やすく工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> ●市駅の地下、ベルファンの駐車場の隣のトイレを使う ●自転車の駐輪場は白バイセンターを使用する
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●シャインビルフクシマ～西村青果間の歩道の警備を増やす必要がある ●トイレは周辺店舗に協力を仰ぎ、地図上に使用可能なトイレの場所を示す 	<ul style="list-style-type: none"> ●市駅の地下、ベルファンの駐車場の隣のトイレを使う ●自転車の駐輪場は白バイセンターを使用する
市堀川クルーズ		
クルーズ	<ul style="list-style-type: none"> ●乗降所の足場の階段（坂田ふとん店横）を緩やかにするべき ●満潮の時、足場が沈むので、対策を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ●1日の運航数を増やす ●クルーズは大好評の企画だったので、力を入れるべき
河川清掃	<ul style="list-style-type: none"> ●寄合橋の角のヘドロが溜まりやすいのでそこを重点的に掃除すべき ●ごみ処理方法を早めに検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●どのように住民や一般の方が関わるのか役割を明確化する ●これからも継続的に実施してほしい
まちぐるみミュージアム		
イベント全体	<ul style="list-style-type: none"> ●トラブル回避のため、全体でのイベント保険には加入したほうが良い ●回遊性を創出するためにイベント全体をスタンプラリー制にする 	<ul style="list-style-type: none"> ●勝海舟碑・熊楠像を活用すべき ●簡単な共同プログラムが欲しい（例：市駅への思いを多くの人に書いてもらう（七夕の短冊風））
広 報		
広報計画	<ul style="list-style-type: none"> ●ポスターをできるだけ広範囲に貼ってもらう（大型店舗・JRの駅など） ●全体的なPRを早めに行う ●イベントがありすぎてメインが埋もれてしまっているので、後方で差別化をおこなう 	<ul style="list-style-type: none"> ●もっとメディア（テレビ和歌山・ラジオ・新聞）を使って広報するべき ●タクシーや和歌山バス車内にチラシを置いてもらう（小さいカードみたいなもの）

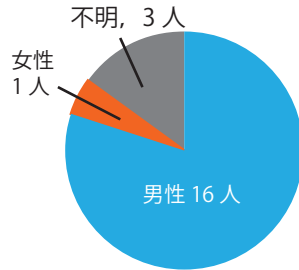
昨年の反省を活かしつつ、新たな成果を！

今回のワークショップでは昨年の反省を踏まえた具体的な改善策が多く出されました。「歩行者天国」については、横断歩道のない場所での歩行者への対策や、竹燈夜などの同時開催イベントをつなぐ動線づくりなどの意見がありました。「クルーズ船」については、満潮時の乗船場の対策や、川掃除イベントの実施方法に関する意見がありました。「広報」については、メディアを利用したよい積極的な広報活動や各イベントの差別化をすべきとの意見がありました。今年から新たに実施する「まちぐるみミュージアム」については、イベント保険への加入などの意見がありました。また、全体としては会場のトイレの確保も議題にあがり、ファーストビルのトイレの使用や簡易トイレの設置等のアイデアも出されました。

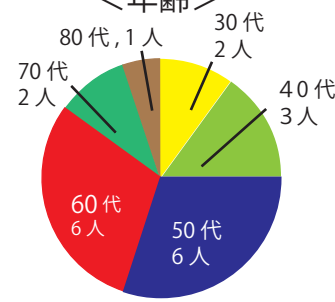
参加者の構成

今回のワークショップの参加者は計28人でした。終了後、そのうち大学関係者を除く20人の方々にアンケートに答えていただくことができました。

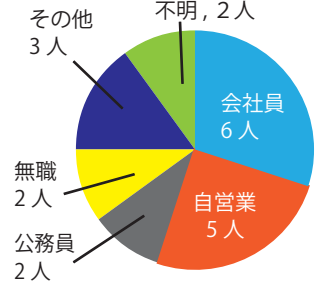
<性別>



<年齢>



<職業>



参加者の声

アンケートでいただいたコメントの一部をご紹介します。

広報活動をしっかり頑張っていたら、多くの人に社会実験を体感してもらいたい。(30代・男性)

参加される地元店舗がイベントを契機に商売につながるような企画をブラッシュアップしていきたいものです。(50代・男性)

グリーンプロジェクト2016の企画素晴らしいです。期待しています。連携していきましょう。(50代・女性)

まちぐるみミュージアムが素晴らしい。他のイベントの連携は少しでもできればいいと思う。(60代・男性)

いよいよ
開催！

市駅“グリーングリーン”プロジェクト2016 ～市駅前通りを緑と憩いの広場にする社会実験～

くすのき広場（歩行者天国）

9月30日（金）～10月2日（日）

場所：和歌山市駅前通り（市道と和歌山市駅前線）

3日間にわたり、アスファルトの車道が天然芝のピクニックエリアに変身！隣にはオープンカフェやマーケット、夜はビアガーデンも設けます。市駅前通りに広がる「緑と憩いの広場」をお楽しみください！

！ 付近には駐車場がないため、公共交通機関でお越しください。

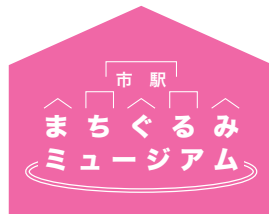


市駅まちぐるみミュージアム

9月15日（木）～10月2日（日）

場所：和歌山市駅周辺の店舗・公共施設など

市駅周辺の店舗や施設等で特別な体験プログラムを実施。手づくりワークショップや美味しい食体験、なりわい講座など、みんなで楽しめる企画が盛りだくさん！



市堀川クルーズ

10月1日（土）～10月2日（日）

場所：和歌山市駅付近～京橋周辺の市堀川

昨年も大好評だった市堀川でのクルーズ船を運航します。水辺の爽やかな風に導かれて、いつもとは違ったまちの風景を存分にお楽しみください。



ホームページも随時更新しています！

<http://shiekigp.wixsite.com/wakayama-ggp>

facebookも更新中！

<https://www.facebook.com/shieki.ggp>

編集後記

昨年の市駅“グリーングリーン”プロジェクトでおこなった歩行者天国や市堀川クルーズに加え、今年は市駅周辺の多彩なお店と施設で様々な体験ができる「まちぐるみミュージアム」が登場します。私も参加してみたいものばかりで今からワクワクしています。社会実験まであと少しです！楽しんでいきましょう！

永瀬ゼミ3回生 岡 美里